



かつての基地の町

大刀洗から「戦争ノー」の声を

大刀洗飛行場は、1945年3月の2度の空襲で壊滅的な打撃を受けました。周辺の民家や住民も大きな被害を受け、当時の経験を語る住民の方が多くおられます。

いま審議されている安保法制は、アメリカと一体で世界中に攻め込むという戦争法案そのものです。この大刀洗からも、安保法制ストップ、戦争きっぱりノーの声を大きく広げましょう。



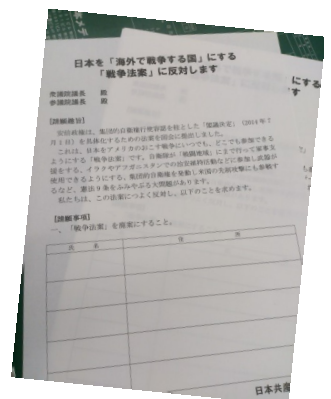
こんな話も

飛行場周辺に住まれていた70代の男性は語ります。「軍の命令で、軍人さんを家に宿泊させていました。食べるものもなく、若い兵隊さんは上司からいつも殴られていて気の毒でした。撃墜された飛行機の遺体を収容したこともあります。戦争はなんにもいいことはない。戦争しようという勢力が増えなければいいことです」
このような経験、歴史を持つ大刀洗から、平和を発信しつづけるようにがんばります。

「安保法制は慎重審議を」意見書、大刀洗でも可決

平山けんじ議員は、6月議会で「安保法制の慎重審議を求める意見書」を提案。保守系議員の賛同も得て、10対1の多数で可決しました。

全国で300を超える自治体が反対、慎重審議の意見書を可決。マスコミでも大きく報道され、政府を追い詰める大きな力になっています。



戦争法案反対の署名にご協力下さい。お電話いただければ取りにうかがいます。

■■■プロフィール■■■
1970年生まれ、45歳。大堰小学校、大刀洗中学校、明善高校を卒業。立命館大学法学部中退。
1999年から町議4期。
家族：妻と4歳児3人（三つ子）



平和とくらしを築る



平山けんじ

戦争法案、消費税増税、年金、国保…、いま国民のくらしがおびやかされています。大刀洗でも高い国保税、年金の削減、保育料の引き上げなど、住民のくらしは大変です。こんな時こそ、町議会は、住民のくらしや福祉をまもるために、その役割を果たすべきです。

子育て応援——保育・医療

保育料の値上げにおどろきの声が上がっています。子どもの多い世帯ほど影響が大きく、子育て支援への逆行です。平山けんじ議員は、子どもや保護者の願いにこたえて、値上げにキッ

パリッノ”の立場をつらぬきました。

また、近隣自治体とくравても遅れている、小中学生への医療費助成を一貫して求めています。

町政をしつかりとチェック

町長は、特産品の売り込みと称してシンガポールに渡航を繰り返し、二千万円の予算を使っています。住民の暮らしが厳しいいま、効果も不明な海外行脚は中止すべきです。

がすすめられています。平山けんじ議員は、住民目線で行政をしつかりチェック、ムダ遣いをやめ、町民の福祉と暮らしに予算を使うよういつかんして要求しています。地域民報「大刀洗新聞」で、活動をお知らせしています。



子どもたちも4歳になりました。子育てを応援する町づくり、戦争許さず平和を守る国づくりの声を政治に届けます。

日本共産党
だかきります！



清潔・公正です

企業献金や政党助成金は1円も受け取らない日本共産党。利権や汚職とも無縁で、だれにでも遠慮なくものが言えます。

なれあい許さず論戦

ほとんどの議員が「オール賛成」の中で、なれあいを許さず、住民目線で町政と議会を厳しくチェックできます。

「なんでも賛成」「なんでも反対」ではなく住民の利益になるかどうか活動の基準です。

反戦平和つらぬき93年

党をつくって93年、戦前からいっかんして反戦平和をつらぬいてきました。戦争法案も廃案の先頭に立って頑張っています。

日本共産党

町政・国政懇談会

9月12日(土) 14時から

本郷ふれあいセンターにて

みなさんのご意見をお聞かせください

いつでも身近な相談相手



平山けんじ議員は毎月、弁護士と協力して無料の法律・生活相談を行っています。相続、土地、多重債務など多くの相談が寄せられています。

これからも身近な相談相手としてがんばります。